

【蕨市立小中学校耐震状況一覧】

(平成26年4月1日現在)

施設名称					優先度調査※3		耐震診断 実施年度	Is値※5		CT・SD値※6	
	建物名称※1	建築年月	構造※2	面積(m ²)	実施年度	優先度ランク ※4		改修前	改修後	改修前	改修後
東小学校	1期・2期校舎	S41.3・S42.8	RC造	1,923	H17	①	H18	0.31	0.78	0.32	0.33
	3期校舎	S58.3	RC造	2,588	新耐震基準(昭和56年以降)により設計されているため耐震性があります。						
	体育館	S47.3	S造	725	H18	③	H22	0.26	0.81	0.83※7	1.82※7
西小学校	1期・2期・3期校舎	S42.8・S46.12・S51.3	RC造	2,544	H17	①	H18	0.26	0.71	0.35	0.49
	4期校舎	S54.3	RC造	2,058	H18	③	H20	0.65	0.87	0.27	0.38
	体育館	S49.2	S造	731	H18	③	H22	0.27	0.84	0.87※7	1.89※7
南小学校	旧校舎	S50.6	RC造	2,142	H18	②	H19	0.25	0.85	0.39	0.45
	新校舎(1)	S57.9	RC造	2,458	新耐震基準(昭和56年以降)により設計されているため耐震性があります。						
	新校舎(2)	S57.9	RC造	2,432	新耐震基準(昭和56年以降)により設計されているため耐震性があります。						
	体育館	S52.3	S造	819	H18	③	H22	0.17	0.83	0.55※7	1.75※7
北小学校	旧校舎(1)	S61.8	RC造	1,991	新耐震基準(昭和56年以降)により設計されているため耐震性があります。						
	旧校舎(2)	S61.8	RC造	706	新耐震基準(昭和56年以降)により設計されているため耐震性があります。						
	新校舎	H16.7	RC造	3,344	新耐震基準(昭和56年以降)により設計されているため耐震性があります。						
	体育館	S45.11	S造	985	H18	④	H23	0.17	0.88	0.55※7	1.60※7
中央小学校	校舎(1)	S56.8	RC造	4,595	H18	②	H20	0.50	0.84	0.40	0.39
	校舎(2)	S56.8	RC造	1,072	H18	②	H20	0.37	0.77	0.38	0.42
	体育館	S48.2	S造	728	H18	④	H23	0.18	0.87	0.56※7	1.58※7
中央東小学校	教室棟(1)	S42.10	RC造	2,641	H17	①	H18	0.32	0.75	0.32	0.31
	教室棟(2)	S42.10	RC造	92	H17	①	H18	0.33	0.85	0.19	0.30
	教室棟(3)	S42.10	RC造	92	H17	①	H18	0.32	0.85	0.19	0.30
	管理棟	S42.10	RC造	826	H17	①	H18	0.35	0.76	0.37	0.42
	特別教室棟	S47.7	RC造	581	H18	④	H20	0.66	0.83	0.68	0.58
	体育館	S52.12	S造	726	H18	③	H23	0.20	0.89	0.63※7	1.51※7
塚越小学校	校舎	S46.8	RC造	3,749	H17	①	H18	0.22	0.77	0.50	0.81
	体育館	S54.3	S造	824	H18	③	H22	0.16	0.81	0.50※7	1.29※7
第一中学校	B棟(1)	S45.12	RC造	3,285	H17	①	H18	0.21	0.80	0.27	0.39
	B棟(2)	S45.12	RC造	355	H17	①	H18	0.30	0.78	0.15	0.41
	A棟	S55.3	RC造	2,913	H18	②	H20	0.60	0.75	0.38	0.39
	体育館	S44.1	RC造+S造	1,018	H18	④	H23	0.23	0.89	0.69※7	1.62※7
第二中学校	教室棟(1)	S55.8	RC造	1,907	H18	①	H20	0.47	1.01	0.48	0.81
	教室棟(2)	S55.8	RC造	1,125	H18	①	H20	0.69	0.78	0.71	0.81
	教室棟(3)	S55.8	RC造	2,662	H18	①	H20	0.48	0.77	0.49	0.79
	特別教室棟	S53.2	RC造	1,563	H18	③	H20	0.51	0.76	0.53	0.78
	体育館	S59.3	RC造	1,477	新耐震基準(昭和56年以降)により設計されているため耐震性があります。						
東中学校	校舎(1)	H1.11	RC造	2,538	新耐震基準(昭和56年以降)により設計されているため耐震性があります。						
	校舎(2)	H1.11	RC造	2,094	新耐震基準(昭和56年以降)により設計されているため耐震性があります。						
	特別教室棟	S51.3	RC造	1,453	H18	④	H20	0.61	0.80	0.38	0.51
	体育館	S41.9	RC造+S造	1,332	H18	③	H23	0.35	0.79	1.08※7	1.44※7

※1 建物名称:別棟となる建物は()により棟ごとに分けて表示しています。

※2 構造:RC造とは、鉄筋コンクリートを用いた建築の構造もしくは工法を表わしています。

S造とは、主要構造部に鋼材を用いた建築の構造もしくは工法を表わしています。

※3 優先度調査:どの建物から耐震診断を実施すべきか、耐震診断を実施する優先度を検討することを目的として行う調査です。

※4 優先度ランク:優先度調査により5段階に判別される評価指標です。(数字が低いほど耐震診断を行う優先度が高くなります。)

※5 Is値:地震に耐えられる能力としての建物の強さや、地震の力を受け流す能力としての建物の粘りに、建物の形状及び経年変化を考慮して耐震診断基準による計算式により求められる耐震性能を示す指標です。国土交通省では、0.6以上を安全の目安としていますが、学校の場合は文部科学省の基準で0.7以上とするよう求められています。「改修前」は診断時の数値、「改修後」は耐震補強工事完了後の数値です。

※6 CT・SD値:建物の累積強度(CT)と建物形状(SD)により地震による水平方向の力に対して、建物に対応する強さを表わす数値で、0.3以上で耐震性能を満たすとされています。

※7 S造の体育館については、「屋内運動場等の耐震性能基準(文部科学省)」に基づきq値により耐震性能を判定しています。

q値:保有水平耐力に係る指標で、1.0以上であれば倒壊や崩壊の危険性が低く、1.0未満では危険性があるとされています。